

J10029
第3版
2014年12月



HDMI[®]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

ASUS Tablet

ASUSキーボードドック

ユーザーマニュアル

T100 Series

ASUS[®]
IN SEARCH OF INCREDIBLE

COPYRIGHTについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの喪失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2014 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトをご用意しています。英語で表示される場合は「Japan/日本語」を選択してください。

<http://www.asus.com/support>

もくじ

本マニュアルについて	7
このマニュアルの表記について	8
アイコン	8
表記	8
安全上の注意	9
ASUS Tabletを使用する	9
ASUS Tabletのお手入れ	10
廃棄・リサイクルについて	11

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

前面	14
ASUS Tabletの機能	16
正面/背面	16
底面	20
ASUSキーボードドックの機能	21
上面	21
左側	23

Chapter 2: ASUS TabletとASUSキーボードドックを使用する

使用の手引き	26
ASUS TabletをASUSキーボードドックにドッキングする	26
ASUS Tabletを充電する	27
ディスプレイパネルを持ち上げる	29
電源ボタンを押す	29
タッチスクリーンとタッチパッドの操作	30
タッチスクリーンパネルでのタッチ操作	30
タッチパッドの操作	34
キーボードを使用する	42
ホットキー	42
Windows® キー	43

Chapter 3: Windows® 8.1環境で使用する

初めて使用する.....	46
Windows®UI.....	47
スタート画面.....	47
ホットスポット.....	48
スタートボタン.....	51
スタート画面をカスタマイズする.....	53
Windows®アプリと一緒に使用する.....	54
アプリの起動.....	54
アプリの起動.....	54
アプリのカスタマイズ.....	54
すべてのアプリ画面へのアクセス.....	57
チャームバー.....	59
スナップ機能.....	62
その他キーボードのショートカット.....	64
ワイヤレスネットワークへの接続.....	66
Wi-Fi.....	66
Bluetooth (特定モデルのみ).....	67
航空機内での使用について.....	68
有線ネットワークへの接続 (特定モデルのみ).....	69
動的 (ダイナミック) IP/PPPoEのネットワーク接続の設定.....	69
静的 (スタティック) IPのネットワーク接続の設定.....	70
ASUS Tabletの電源をオフにする.....	71
ASUS Tabletをスリープ状態にする.....	71
Windows®8.1 ロック画面.....	72
ロック画面の解除.....	72
ロック画面をカスタマイズする.....	73
トラブルシューティング.....	75
PCのリフレッシュ.....	75
PCを初期状態に戻す.....	76
詳細オプション.....	77

Chapter 4: FAQとヒント

安全に使用するためのヒント.....	80
ハードウェアに関するFAQ.....	81
ソフトウェアに関するFAQ.....	84

Chapter5: 付録

内蔵モデムの適応規格(規格/プロトコルなど原文掲載).....	88
Overview	88
Network Compatibility Declaration.....	89
Non-Voice Equipment	89
Federal Communications Commission Interference Statement.....	91
Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC).....	92
FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement.....	93
RF Exposure Information (SAR)	93
CE Marking.....	94
RF Exposure information (SAR) - CE	95
日本国内での無線周波数帯のご利用について	95
聴覚障害を防ぐため.....	95
IC Radiation Exposure Statement for Canada	96
Déclaration d'Industrie Canada relative à l'exposition aux ondes radio	97
Radiation Exposure Statement	98
Déclaration d'exposition aux radiations	98
Caution.....	98
Avertissement	99
Wireless Operation Channel for Different Domains.....	100
France Restricted Wireless Frequency Bands.....	100
UL Safety Notices	102
Power Safety Requirement	103
TV Notices	103
REACH	103
Macrovision Corporation Product Notice	103
Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries).....	104
Optical Drive Safety Information.....	105
CTR 21 Approval (for ASUS Tablet with built-in Modem).....	106
European Union Eco-label.....	108
電気・電子機器に含有される化学物質の表示について	108
回収とリサイクルについて	109
筐体のコーティングについて	109

ASUS Mobile Dock Compatibility Table	109
Regional notice for Singapore	110
Regional notice for India	110
Notices for removeable batteries	110
Avis concernant les batteries remplaçables	110

本マニュアルについて

このマニュアルには本製品のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

本製品のハードウェアとコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2: ASUS TabletとASUSキーボードドックを使用する

本製品の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3: Windows® 8.1環境で使用する

本製品でのWindows® 8.1の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4: FAQとヒント

よくある質問とその回答・ヒントが記載されています。

Chapter 5: 付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

注:本書で使用されている名称は正式なものではない可能性があります。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない事項です。

注: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を行う際、人体への危険を避けるため、または本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

アイコン

タスクを完了するために使用するデバイスをアイコンで表しています。



= タッチスクリーンパネルを使用します (特定モデルのみ)。



= タッチパッドを使用します。



= キーボードを使用します。

表記

太字 = 選択するメニューや項目を表示します。

<> = 操作のために押す、キーボード上のキーです。

安全上の注意

ASUS Tabletを使用する



ASUS Tabletは5～35℃の周辺温度でご使用ください。



入力定格はASUS Tabletの底部に記載があります。ACアダプターが対応していることを確認してください。



ASUS Tabletの使用中は底面が熱くなります。ひざの上など人体に長時間接触させて使用すると火傷を負う恐れがあります。



破損した電源コード、アクセサリまたはその他の周辺機器をご使用にならないでください。



電源がオンのまま本機を持ち運ばないでください。またキャリーバッグに入れたり、カバーをしたりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。



ASUS Tabletを平らでない、不安定な場所に置かないでください。



ASUS TabletをX線装置（ベルトコンベアー）に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドは避けください。



多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内でのASUS Tabletの使用については、各航空会社にお問い合わせください。

ASUS Tabletのお手入れ



ASUS Tabletのお手入れの際は、電源を切りACアダプターとバッテリーパックが取り外し可能なモデルであればバッテリーパックも取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。



本体のお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。



ASUS Tabletの上に物を置かないでください。



ASUS Tabletに強い磁気を近づけないでください。



液体・雨・湿気を避けてください。



ASUS Tabletをホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。



ASUS Tabletをガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。

廃棄・リサイクルについて



本機やバッテリー (該当する場合) を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



バッテリーを一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

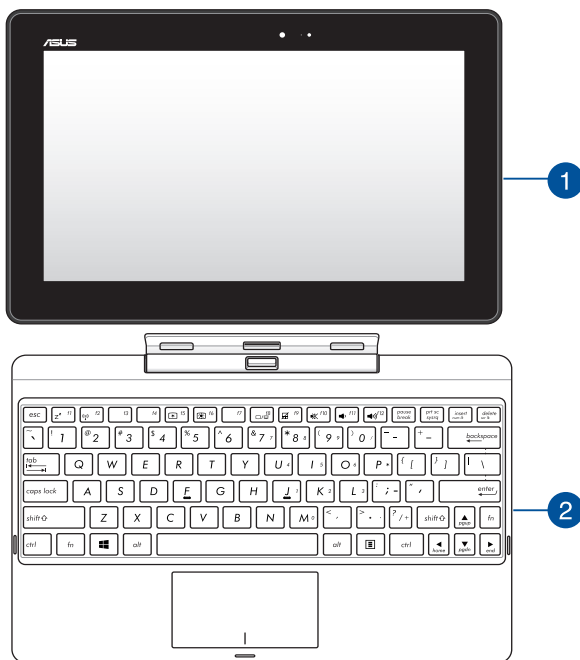
Chapter 1:

ハードウェアのセットアップ

前面

注:

- キーボードのレイアウトはお買い上げの国や地域により異なります。また、製品の外観はモデルによって異なる場合があります。
- ASUSキーボードドックが同梱されているモデルでは、そちらとドッキングしてお使いいただけます。



1 ASUS Tablet

ASUS TabletはオプションのASUSキーボードドックと一体化して使用することで、ノートパソコンのように使用することも可能です。ASUS Tabletはタッチ操作に対応しており、単独でも使用することができます。

注: ASUS Tabletに関する詳細は、「ASUS Tabletの機能」と「ASUS Tabletとタッチパッドの操作」をご参照ください。

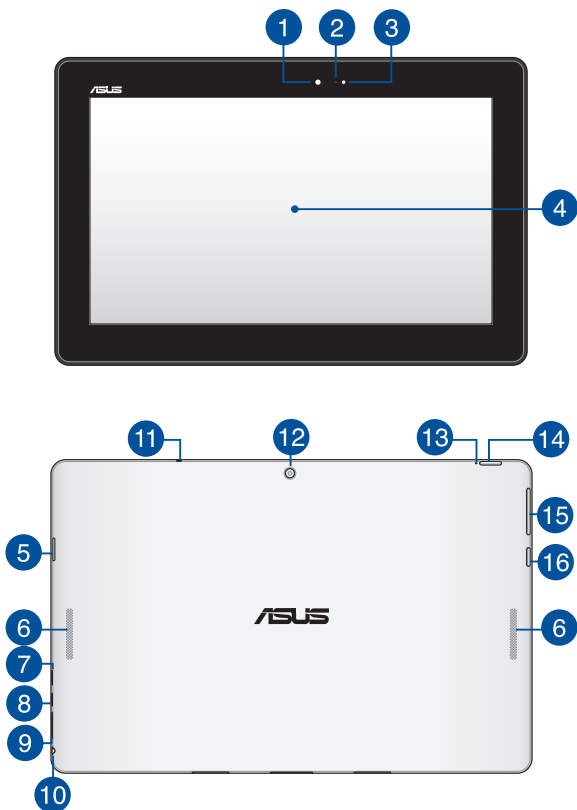
2 ASUS キーボードドック

キーボードドックには入力デバイスとして、タッチパッドとキーボードが搭載されています。

重要: ASUS TabletとASUSキーボードドックの着脱についての詳細は、「ASUS Tabletのドッキング」と「ASUS Tabletのドッキング解除」をご参照ください。

ASUS Tabletの機能

正面/背面



1 フロントカメラ

画像の撮影と動画の録画が可能です。

2 カメラインジケータ

内蔵型カメラの使用時に点灯します。

3 アンビエント・ライトセンサー

周囲の明るさに応じ、ディスプレイの明るさを調節します。

4 タッチスクリーンパネル

タッチスクリーンパネルは画像や動画、その他マルチメディアファイルの参照に卓越した視認性を発揮します。タッチ操作対応ですので、タッチ操作でASUS Tabletを操作することができます。

注: ASUS Tabletのタッチ操作については、「Tabletを使用する」をご参照ください。

5 microSDカードスロット

タブレットには microSD/microSDHC/microSDXCに対応のメモリーカードリーダー用スロットが内蔵されています。

6 オーディオスピーカー

Windows®のプログラムイベントなどのサウンドをご確認いただけます。

注: 特定モデルでは、搭載されているスピーカーは一個です。

- 7 microUSB 2.0ポート**
ASUS Tabletへの電源供給とバッテリーの充電を行います。
- 8 microHDMI ポート**
microHDMI対応デバイスを接続します。なお、著作権保護技術のひとつであるHDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) にも対応していますので、HD DVD、Blu-ray、著作権保護コンテンツ等の再生も可能です。
- 9 microSIMカードスロット (LTE対応モデルのみ)**
microSIMカードスロットが搭載されており、W-CDMA、LTEネットワーク帯域をサポートしています。
- 10 ヘッドホン出力&マイク入力コンボジャック**
ASUS Tabletのオーディオ出力信号をアンプスピーカーやヘッドホンに接続します。4極対応のヘッドセットを接続することができます。
- 11 マイク**
ビデオ会議や、ナレーション、オーディオの録音、マルチメディアアプリケーション等にご利用ください。
- 12 バックパネルカメラ (特定モデルのみ)**
内蔵カメラにより、画像の撮影と動画の録画ができます。
- 13 バッテリーインジケーター**
色でバッテリーの充電状況を表示します。表示内容は次のとおりです。

色	状態
ホワイト	ACアダプターがASUS Tabletに接続された状態で、バッテリーの充電レベルは95%から100%です。
オレンジ	ACアダプターがASUS Tabletに接続され充電を行っている状態で、バッテリーの充電レベルは95%未満です。
点灯しない	ACアダプターがASUS Tabletに接続されていない状態で、バッテリーの充電レベルは10%から100%です。

14 電源ボタン

ASUS Tabletの電源をオン、スリープモードにします。またスリープモードからウェイクアップすることもできます。

システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを約10秒間押し、強制終了することができます。

重要: 強制終了により、保存が完了していない作業中のデータなどは削除される場合があります。データの損失を防ぐため定期的なシステムのバックアップを強くお勧めします。

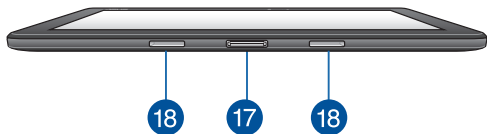
15 ボリュームボタン

ASUS Tabletの音量を調整することができます。

16 Windows® ボタン

このボタンを押すとスタート画面に戻ります。スタート画面で押すと、最後に使用した起動中のアプリに戻ります。

底面



17 ドックポート

このポートにキーボードドックを接続します。接続することで、キーボードドックのキーボード、タッチパッド、USBポート*が使用できるようになります。

18 ヒンジホール

ラッチフックをこのホールに挿入し、ASUS Tabletをキーボードドックに取り付けます。

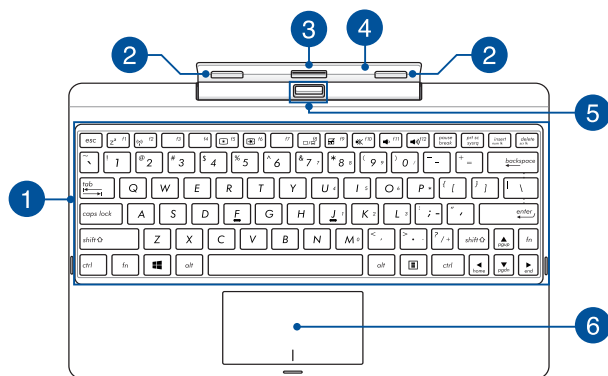
* 特定モデルのみ

ASUSキーボードドックの機能

重要: ASUSキーボードドックは特定モデルのみ同梱されています。

注: キーボードのレイアウトはお買い上げの国や地域により異なります。

上面



1 キーボード

クウォーティー (QWERTY) 配列のキーボードには十分なストロークを持たせてあり、パームレストが付いているため快適な操作が可能です。また、Functionキー <Fn>でのコマンドの実行や、Windows®へのクイックアクセス、その他マルチメディア機能の操作も可能です。

注: キーボードのレイアウトはお買い上げの地域により異なります。

- 2 ラッチフック**
キーボードドックにTabletを固定します。
- 3 ドックコネクター**
このコネクターの上にドックポートを合わせ、キーボードドックにTabletをドッキングします。
- 4 ヒンジ**
キーボードドックにドッキングされているASUS Tabletを支えるヒンジです。また、ドッキング時でもタブレットの角度を調整することができます。
- 5 リリースボタン**
キーボードドックからASUS Tabletを取り外す際に、このボタンを押します。
- 6 タッチパッド**
指先を使用して、カーソルを移動したり画面に表示された項目を選択することができます。タッチパッドはマウスと同等の機能を提供するポインティングデバイスです。

注: 詳細は「タッチパッドを使用する」をご参照ください。

左側



7 USB 2.0ポート*

USBポートはUSB2.0とUSB1.1の互換仕様となっており、キーボード、ポインティングデバイス、カメラ、ハードディスクドライブ、プリンター、スキャナーなどが接続できます。USB1.1接続は最大12Mbps、USB2.0接続は最大480Mbpsの転送速度に対応します。

USB 3.0ポート*

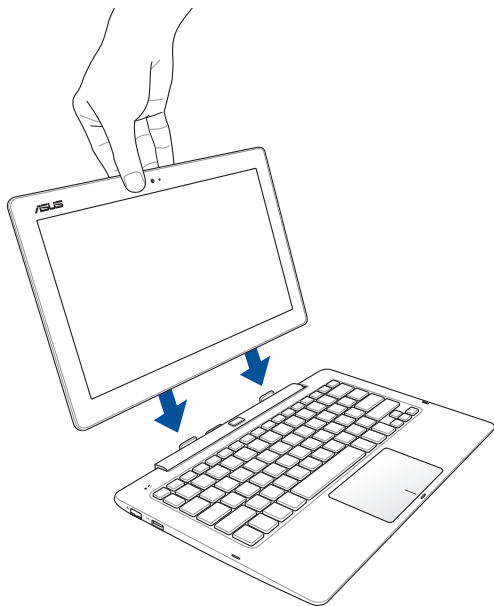
このUSB 3.0ポートは、最大5 Gbpsのデータ転送速度を提供し、USB 2.0に下位互換性があります。

* 特定モデルのみ

Chapter 2: ASUS TabletとASUSキーボード ドックを使用する

使用の手引き

ASUS TabletをASUSキーボードドックにドッキングする



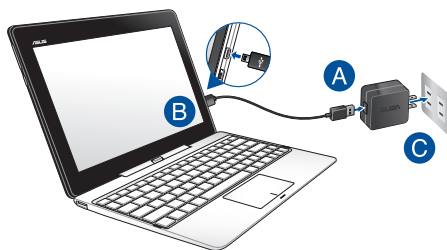
ASUS Tabletを充電する

- A. ACアダプターにmicroUSBケーブルを接続します。
- B. microUSBコネクターをASUS Tabletに差し込みます。
- C. 電源コンセントにACアダプターを接続します。



初めてバッテリー電源でASUS Tabletを使用する際は、8時間程度充電してください。

注: モデルによってACアダプターの外観/仕様は異なる場合があります。充電の際は、付属の電源アダプターを使用してください。



重要:

ACアダプターについて

- 入力電圧: 100-240V
 - 入力周波数: 50-60Hz
 - 定格出力電流: 2A (HDD非搭載ドック: 10W、HDD搭載ドック: 18W)
 - 定格出力電圧: 5V (HDD非搭載ドック: 10W)、9V (HDD搭載ドック: 18W)
-

重要:

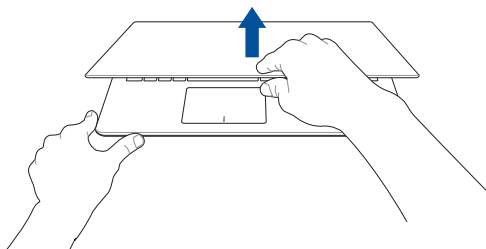
- 入出力定格はASUS Tablet本体に記載があります。ACアダプターが対応していることをご確認ください。モデルによっては、定格出力電流が複数設定されている場合があります。
- ASUS Tabletの電源を初めてオンにするときは、電源アダプターがASUS Tabletに接続されていることをご確認ください。ASUS Tabletを電源アダプターに接続しているときは、壁面などの固定電源コンセントの電源の使用をお勧めします。
- ASUS Tabletを電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
- 主電源からASUS Tabletを切断するには、電源コンセントからASUS Tabletの電源コードを抜いてください。

警告:

ASUS Tabletのバッテリーに関する警告事項をよくお読みください。

- 本機内蔵のバッテリーの取り外しはASUS公認の技術員のみに対応することができます。
- 本機内蔵のバッテリーをお客様ご自身で取り外した、または分解した場合、火事または化学火傷の危険性があります。
- 取り扱いの際は警告ラベルの指示に従ってください。
- ASUS指定以外もしくは本機付属以外のバッテリーに交換した場合、破裂、発火、発熱の恐れがあります。
- バッテリーを火中へ投下する、火気へ近づける、加熱する、高温状態で放置するなどしないでください。
- バッテリーの回路をショートさせないでください。
- バッテリーを分解または改造しないでください。
- 変形、変色、割れ、サビ、液漏れや異臭、異音などを起こしたバッテリーは直ちにその使用を中止してください。
- バッテリーは地域の条例等の指示に従ってリサイクル・処理してください。
- バッテリーおよびその他の部品は、子供の手が届かない場所に保管してください。

ディスプレイパネルを持ち上げる



電源ボタンを押す



タッチスクリーンとタッチパッドの操作

プログラムの起動、ASUS Tabletの各種設定を行います。タッチスクリーンとタッチパッドの操作方法は次のイラストと説明をご参照ください。

注: ご使用のアプリによっては、以下で紹介する操作に対応していない場合があります。

注: 本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用です。タッチスクリーンパネルの外観はモデルにより異なります。

タッチスクリーンパネルでのタッチ操作

タッチ操作でプログラムの起動やASUS Tabletの設定を行うことができます。各機能はASUS Tabletで有効にすることができます。

左側からなぞる



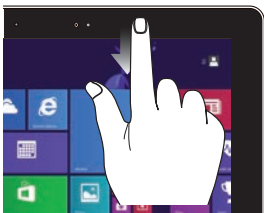
左側からなぞり、起動中のアプリを切り替えます。

右側からなぞる



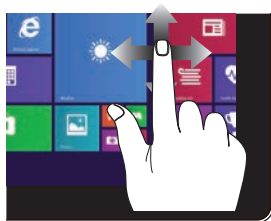
画面を右側からなぞり、チャームバーを起動します。

上側からなぞる



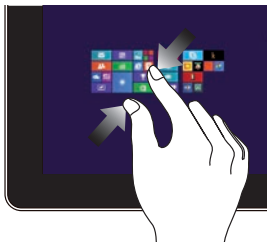
- スタート画面で、画面の上側からなぞると、カスタマイズバーが表示されます。
- 起動中のアプリを上側からなぞると、メニューが表示されます。

指でのスライド



指を上下になぞると上下方向へのスクロール、左右になぞると左右へのスクロールができます。

ズームアウト



2本の指先の間隔を狭めることでズームアウトが可能です。

ズームイン



2本の指先の間隔を広げることでズームインが可能です。

タップ/ダブルタップ



- アプリをタップし起動します。
- デスクトップモードでは、項目をダブルタップして起動します。

タップ/クリック&ホールド



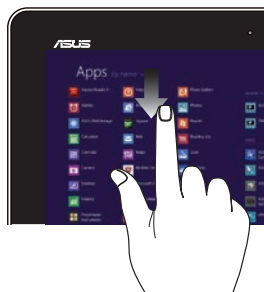
- アプリタイトルをタップしたまま移動先までドラッグします。
- アプリを閉じるには、起動中のアプリの上側をタップし、そのまま画面下までドラッグします。

上方向になぞる



スタート画面を上方向になぞり、
アプリ画面を起動します。

下方向になぞる



アプリ画面を下方向になぞり、
スタート画面に戻ります。

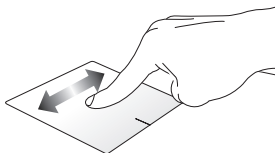
タッチパッドの操作

注: ご使用のアプリによっては、以下で紹介する操作に対応していない場合があります。

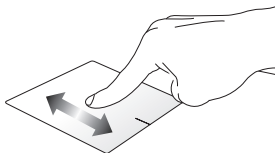
ポインタの移動

タッチパッド上をクリックまたはタップした後でそのまま指をスライドすると、画面上のポインタを移動することができます。

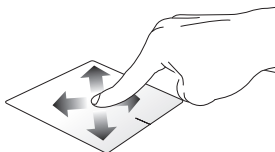
水平にスライド



垂直にスライド

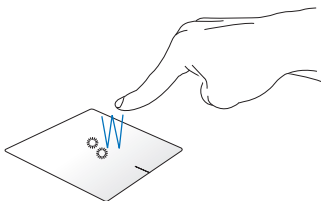


対角線上にスライド



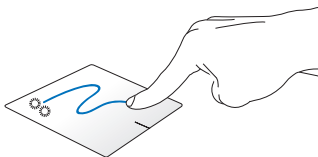
指1本での操作

タップ/クリック、ダブルタップ/クリック



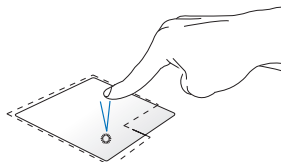
- スタート画面でアプリをタップ/クリックし起動します。
- デスクトップモードでは、アプリをダブルタップ/クリックして起動します。

ドラッグ&ドロップ



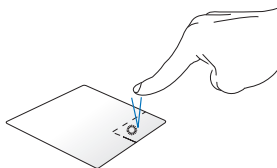
項目をダブルタップ/クリックし、そのままスライドします。指先をタッチパッドから離すと、ドロップされます。

左クリック



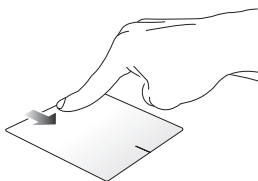
- スタート画面でアプリをクリックし起動します。
- デスクトップモードでは、アプリをダブルタップして起動します。

右クリック



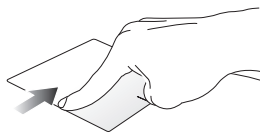
- スタート画面でアプリを右クリックし選択し、設定バーを起動します。アプリ上でない場合は、すべてのアプリバーが起動します。
- デスクトップモードでこのボタンを使用して、右クリックメニューを開きます。

上側からなぞる



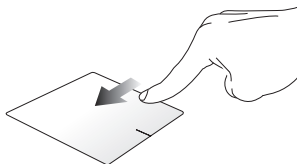
- スタート画面で、画面の上側からなぞると、すべてのアプリバーが表示されます。
- 起動中のアプリを上側からなぞると、メニューが表示されます。

左側からなぞる



左側からなぞり、起動中のアプリをシャッフルします。

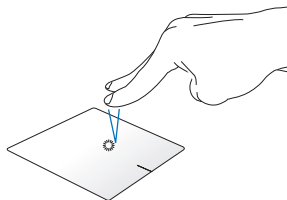
右側からなぞる



画面を右側からなぞり、チャームバーを起動します。

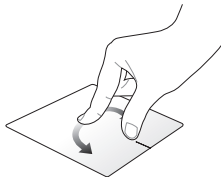
指2本での操作

タップ/クリック



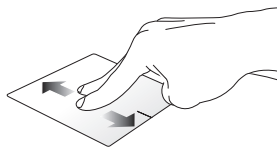
指2本をタッチパッド上でタップ/クリックすると、マウスの右クリックと同じ操作を行うことができます。

回転



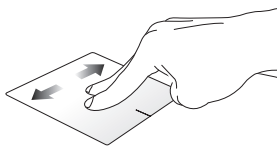
タッチパッド上で指2本を使用し、1本を軸にして時計回りまたは反時計回りの円を描き、画像を回転させます。

指2本でのスクロール(上下)



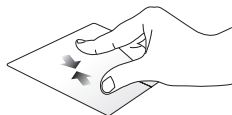
指2本を上下になぞると、ウィンドウが上下にスクロールします。

指2本でのスクロール(左右)



指2本で左右になぞると、ウィンドウが左右にスクロールします。

ズームアウト



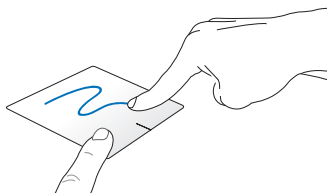
2本の指先の間隔を狭めることでズームアウトが可能です。

ズームイン



2本の指先の間隔を広げることでズームインが可能です。

ドラッグ&ドロップ



項目を選択し、クリックしたままにします。もう1本の指でタッチパッドを目的の方向にスライドすると、項目を別の場所に移動することができます。

指3本での操作

上方向になぞる



3本の指先をタッチパッド上で上方向にスライドし、起動中のすべてのアプリを表示します。

左/右方向になぞる



3本の指先をタッチパッド上で左/右方向にスライドし、ページのナビゲートをします。

下方向になぞる



3本の指先をタッチパッド上で下方向にスライドし、デスクトップを表示します。

重要: デフォルト設定では、指3本での操作は有効に設定されていません。有効にするには、「指3本での操作を有効にする」をご参照ください。

注: モデルにより操作方法が異なる場合があります。また、機能のご利用に設定が必要な場合があります。



指3本での操作を有効にする

次の手順でタッチパッドの指3本での操作を有効にすることができます。



または



1. デスクトップアプリを起動します。
2. タスクトレイの右下の  →  をタップ/クリックし、ASUS Smart Gestureアプリを起動します。
3. 「**3本指**」で、下の各項目にチェックを入れます。
 - ページのナビゲート
 - 実行中のアプリケーションビューの表示とナビゲート
 - デスクトップの表示
4. 「**適用**」をタップし、「**OK**」をタップします。



キーボードを使用する

ホットキー

ホットキーについて説明します。コマンドは、Function キー <Fn>を押しながら、コマンドが表記されたキーを押して実行します。



ASUS Tabletをスリープ状態にします。



機内モードのオン/オフを切り替えます。

注: 機内モード有効時は、すべてのワイヤレス接続が無効になります。



ディスプレイの明るさを下げます。



ディスプレイの明るさを上げます。







ディスプレイパネルの電源をオフにします。







表示モードを切り替えます。

注: ASUS Tabletに外付けディスプレイが接続されたときに利用できるコマンドです。

 +  タッチパッドを有効または無効にします。


 +  スピーカーのオン/オフを切り替えます。


 +  スピーカーのボリュームを下げます。

 +  スピーカーのボリュームを上げます。

Windows® キー

キーボードには以下の説明のように、2つの特別なWindows® キーがあります。

 このキーを押すと、スタート画面に戻ります。スタート画面で押すと、最後に使用した起動中のアプリに戻ります。

 マウスの右クリックと同じ操作を行うことができます。

Chapter 3: Windows® 8.1環境で使用する

初めて使用する

コンピューターを初めて使用するときは、Windows® 8.1 OSの基本設定を行う設定画面が表示されます。

設定手順

1. ASUS Tabletの電源ボタンを押します。設定画面が表示されるので、暫くお待ちください。
2. ライセンス条項を読み、内容を確認します。「**同意します**」を選択します。
3. 画面上に指示に従い、次の各基本設定を行います。
 - パーソナル設定
 - オンラインに接続
 - 設定
 - お使いのアカウント
4. 基本設定が完了すると、チュートリアルが表示されます。
5. セットアップが完了すると、スタート画面が表示されます。

注: ご使用の国や地域、環境などにより、手順に差異がある場合があります。その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

Windows® UI

Windows® アプリはWindows®8.1で使用されるタイル表示のユーザーインターフェースで、スタート画面から簡単にアクセス可能です。次の各機能を利用することができます。

スタート画面

Windows®にサインイン後に表示され、Windows®アプリが表示されます。



Windows® アプリ

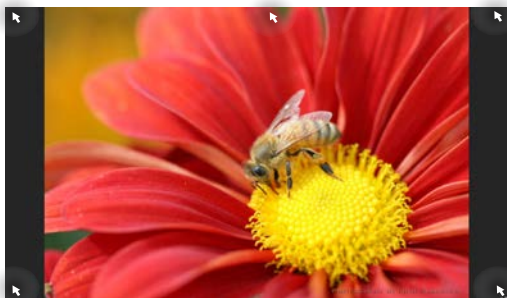
アプリはスタート画面にピン留めされており、タイル形式で表示されます。

注: 特定のアプリはその機能を十分活用するため、Microsoftアカウントでのサインインが必要になる場合があります。

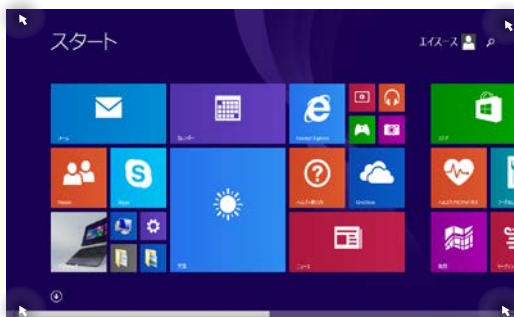
ホットスポット

プログラムの起動、ASUS Tabletの各種設定を行います。各機能はタッチパッドで有効にすることができます。

起動済みアプリのホットスポット



画面上のホットスポット



ホットスポット

操作


左上

マウスのポインターをこの位置まで移動し、最近使用したアプリのサムネイルをタップ/クリックすると、そのアプリが表示されます。

複数のアプリを起動した状態で、下方向にスライドすると、起動しているアプリが表示されます。


左下

起動中のアプリ画面から:

マウスのポインターをこの位置まで移動し、をタップ/クリックすると、スタート画面に戻ります。

注: Windows®キー  を押しても同様の操作が可能です。

スタート画面から:

マウスのポインターをこの位置まで移動し、をタップ/クリックすると、最後に使用した起動中のアプリに戻ります。

ホットスポット

操作

上側

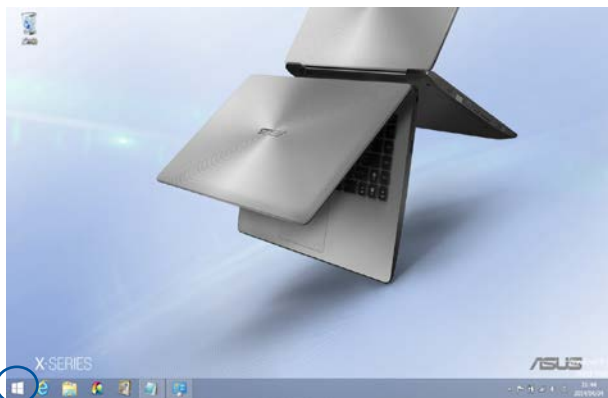
マウスのポインターを手のアイコンに切り替わるまで移動します。アプリをドラッグ&ドロップし、別の場所へ移動することができます。

注: このホットスポット機能は起動中のアプリ、またはスナップ機能を使用する場合にのみ動作します。詳細は「Windows®アプリと一緒に使用する」の「スナップ機能」をご参照ください。

右上、右下

マウスのポインターをこの位置まで移動すると、チャームバーが起動します。

デスクトップモードのスタートボタン



コンテキストメニュー

コンテキストメニューはWindows® 8.1内の特定のプログラムに簡単アクセスすることができます。コンテキストメニューはスタートボタンを右クリックすると表示されます。

また、次のようなシャットダウンオプションが用意されています。
サインアウト、スリープ、シャットダウン、再起動



Windows®アプリと一緒に使用する

ASUS Tabletのタッチスクリーンパネル、タッチパッド、キーボードを使用し、アプリの起動と終了、カスタマイズを行います。

アプリの起動



アプリをタップし起動します。



アプリの上にマウスのポインターを合わせ、左クリック、またはタップして起動します。



とカーソルキーでアプリを選択します。



を押すと、選択したアプリが起動します。

アプリのカスタマイズ

スタート画面上でアプリの移動、サイズ変更、ピンの解除を行うことができます。次の手順で行います。

アプリの移動



アプリタイトルをタップしたまま目的の場所までドラッグします。



アプリをダブルタップし、目的の場所までドラッグします。

アプリのサイズ変更



アプリをタップ&ホールドし、カスタマイズバーを起動し、「**サイズを変更する**」をタップし、アプリタイトルのサイズを選択します。



アプリ上を右クリックし、カスタマイズバーを有効にし、「**サイズを変更する**」をタップし、アプリタイトルのサイズを選択します。

ピン留めの解除



アプリをタップ&ホールドしカスタマイズバーを起動し、「**スタート画面からピン留めを外す**」をタップします。



アプリ上を右クリックし、カスタマイズバーを有効にし、「**スタート画面からピン留めを外す**」をタップ/クリックします。

アプリの終了



起動中のアプリの上側をタップしたまま画面下までドラッグします。



1. 起動したアプリの上側にマウスのポインターを当て、ポインターが手のアイコンになるまで待ちます。
2. アプリを画面下までドラッグ&ドロップし、アプリを終了します。

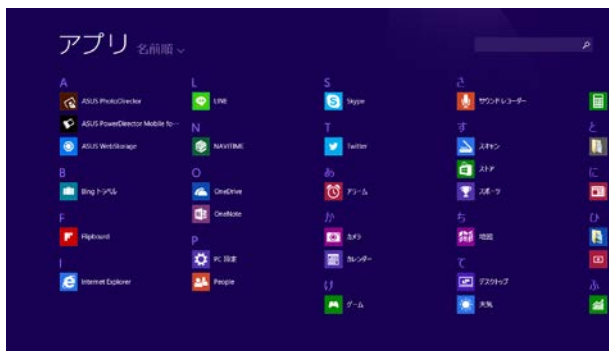


終了させるアプリの画面から  +  を押します。

すべてのアプリ画面へのアクセス

スタート画面にピンされたアプリ以外にも、本機に搭載のASUSアプリ等、他のアプリをすべてのアプリ画面から起動することができます。

注: 実際に表示されるアプリは、モデルによって異なる場合があります。本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用です。



すべてのアプリの起動

ASUS Tabletのタッチスクリーンパネル、タッチパッドまたはキーボードを使用し、すべてのアプリ画面を開きます。



スタート画面を上方向になぞり、アプリ画面を起動します。



スタート画面で  ボタンをクリックします。



スタート画面から、  を押し、  を押します。

スタート画面へのアプリの追加

タッチスクリーンパネルまたはタッチパッドを使用し、スタート画面にアプリを追加することができます。



1. 「**すべてのアプリ**」画面を開きます。
2. スタート画面にピン留めしたいアプリをタップ&ホールドし、カスタマイズバーを起動します。
3. 「**スタート画面にピン留めする**」をタップし、選択したアプリをスタート画面にピン留めします。



1. 「**すべてのアプリ**」画面を開きます。
2. スタート画面に追加したいアプリを右クリックします。
3. 「**スタート画面にピン留めする**」をタップ/クリックし、選択したアプリをスタート画面にピン留めします。

チャームバー

チャームバーは画面右側に表示されるツールバーです。アプリケーションの共有などの操作やASUS Tabletのカスタマイズ設定へ簡単にアクセスできます。



チャームバー

チャームバーの起動

注: チャームバーは起動すると、前頁の画像のように表示されます。

ASUS Tabletのタッチスクリーンパネル、タッチパッド、キーボードを使用し、チャームバーを起動します。



画面を右側からなぞり、チャームバーを起動します。



マウスのポインターを画面右上または右下まで移動します。



 +  を押します。

チャームバーのコンテンツ



検索

ASUS Tablet内のファイルやアプリ、プログラムを検索します。



共有

ソーシャルネットワークサービス (SNS) やメールなどを使用し、アプリを共有します。



スタート

画面をスタート画面に戻します。スタート画面から使用していたアプリに戻ることもできます。



デバイス

外付けモニターやプリンター等、ASUS Tabletと接続したデバイスに関する操作を行います。



設定

ASUS Tabletの各種設定を行います。

スナップ機能

2つのアプリケーションを同時に操作することができます。この機能を有効にすると、スナップした際にサイドバーが表示され、ディスプレイを2分割します。

重要: スナップ機能の利用には、1366×768ピクセル以上の解像度が必要です。



スナップバー

スナップを有効にする

ASUS Tabletのタッチスクリーンパネル、タッチパッド、キーボードを使用し、スナップ機能の起動と操作を行います。




1. アプリをタップし、起動します。
2. アプリの上の部分をタップしたまま、スナップバーが表示されるまで画面の左側または右側までドラッグします。
3. 他のアプリを起動します。



1. アプリをタップし、起動します。
2. マウスのポインターを画面の上側に移動します。
3. ポインターが手のアイコンに切り替わったら、アプリをディスプレイパネルの左側/右側にドラッグ&ドロップします。
4. 他のアプリを起動します。



1. アプリをタップし、起動します。
2.  と矢印キーを押し、アプリをスナップ表示します。
3. 他のアプリを起動します。このアプリは自動的に空のペインに配置されます。

その他キーボードのショートカット

次のショートカットを使用し、アプリケーションの起動やWindows®8.1の操作が可能です。



スタート画面と最後に使用した起動中のアプリを切り替えます。



デスクトップを起動します。



デスクトップモードで「コンピューター」ウィンドウを起動します。



検索チャームから「ファイル」オプションを開きます。



共有チャームを開きます。



設定チャームを開きます。



デバイスチャームを開きます。



ロック画面を有効にします。



アクティブウィンドウを最小化します。



「表示」画面を開きます。



検索チャームから「すべての場所」オプションを開きます。



「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開きます。



「コンピューターの簡単操作センター」を開きます。



検索チャームから「設定」オプションを開きます。



スタートボタンのコンテキストメニューを開きます。



ナレーターの設定を開きます。

ワイヤレスネットワークへの接続


Wi-Fi

ASUS Tabletに搭載のWi-Fi 機能により、SNSを使用したアプリの共有、メールの閲覧、インターネットサーフィン等が楽しみいただけます。

重要: 機内モードを有効にすると、無線接続は無効になります。Wi-Fi 接続を使用する際は、「機内モード」をオフにする必要があります。

Wi-Fiを有効にする

タッチスクリーンパネルまたはタッチパッドを使用し、次の手順でASUS Tablet に搭載のWi-Fi機能を有効にします。

1. チャームバーを起動します。
2. 「設定」  をタップ/クリックし「Wi-Fi機能」  をタップ/クリックします。
3. 利用可能なWi-Fi接続のリストからアクセスポイントを1つ選択します。
4. 「接続」をタップ/クリックし、ネットワーク接続を開始します。

注: Wi-Fi接続を開始するときに、セキュリティキーの入力が求められる場合があります。

注: 特定モデルでは、5.2/5.3GHz帯をサポートする無線LANモジュールを搭載しておりますが、電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限ります。


Bluetooth (特定モデルのみ)

Bluetoothデバイス間では、ファイル転送、インターネット接続やネットワーク接続の共有などが可能です。

重要: 機内モードを有効にすると、無線接続は無効になります。Bluetooth機能を使用する際は、「機内モード」をオフにする必要があります。

Bluetooth対応デバイスとのペアリング

データ転送を可能にするために、他のBluetooth対応デバイスとASUS Tabletのペアリングを行う必要があります。次の手順でタッチパッド操作を行います。

1. チャームバーを起動します。
2. 「設定」  をタップ/クリックし、「PC設定の変更」をタップ/クリックします。
3. 「PC設定」から「PCとデバイス」→「Bluetooth」の順に選択し、BluetoothスライダーでBluetooth機能をオンにします。
4. リストからデバイスを選択し、画面の指示に従いペアリングを行います。

注: 一部のBluetooth対応デバイスでは、ノートパソコンのパスコードを入力するよう求められる場合があります。

航空機内での使用について

機内モードを有効にすると、無線接続は無効になります。

機内モードを有効にする



または



1. チャームバーを起動します。
2. 「設定」  をタップ/クリックし、「Wi-Fi機能」  をタップ/クリックします。
3. スライドバーを右に移動し機内モードをオンにします。



 +  を押します。

機内モードを無効にする



または



1. チャームバーを起動します。
2. 「設定」  をタップ/クリックし「Wi-Fi機能」  をタップ/クリックします。
3. スライドバーを左に移動すると無効になります。



 +  を押します。

注: 多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内でのASUS Tabletの使用については、各航空会社にお問い合わせください。

有線ネットワークへの接続 (特定モデルのみ)

ドッキング時にASUSキーボードドックのLANポートを使用し、LANネットワークやブロードバンドインターネット接続等の有線ネットワークに接続することができます。


注: インターネット接続セットアップ時の詳細やサポートについては、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダ (ISP) にご確認ください。

設定を行うには、次の手順をご参照ください。

重要: 設定を行う前に、ネットワークケーブルで本機のLANポートとローカルエリアネットワークが接続されていることをご確認ください。


動的 (ダイナミック) IP/PPPoEのネットワーク接続の設定



1. デスクトップモードを起動します。
2. Windows®のタスクトレイから、ネットワークアイコン  を右クリックし、「ネットワークと共有センターを開く」をタップ/クリックします。
3. ネットワークと共有センターで、「アダプターの設定の変更」をタップ/クリックします。
4. LAN上で右クリックし、「プロパティ」を選択します。
5. 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」をタップ/クリックして「プロパティ」をタップ/クリックします。

6. 「IPアドレスを自動的に取得する」をタップ/クリックし「OK」をタップします。

注: PPPoE接続を使用する場合は、次の手順に進んでください。

7. 「ネットワークと共有センター」に戻り、「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をタップ/クリックします。
8. 「インターネットに接続します」をタップ/クリックし「次へ」を選択します。
9. 「ブロードバンド(PPPoE)」をタップ/クリックします。
10. ユーザー名、パスワード、接続名を入力し、「接続」をタップ/クリックします。
11. 「閉じる」をタップ/クリックし、設定を終了します。
12. タスクトレイの  をタップ/クリックし、上の手順で作成した接続をクリックします。
13. ユーザー名とパスワードを入力し、「接続」をタップ/クリックし、インターネットへの接続を開始します。

静的(スタティック)IPのネットワーク接続の設定



1. 動的IP/PPPoEのネットワーク接続の設定の手順1~5を行います。
2. 「次のIPアドレスを使う」をタップ/クリックします。
3. ご利用のサービスプロバイダ提供のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。
4. 必要に応じ、優先DNSサーバーのアドレスと代替DNSサーバーのアドレスを入力し、「OK」をタップ/クリックします。

ASUS Tabletの電源をオフにする


次のいずれかの手順でASUS Tabletの電源をオフにすることができます。



または



- チャームバーから「設定」  をタップ/クリックし、「電源」  をタップ/クリックします。続いて「シャットダウン」をタップし、本機をシャットダウンします。

- ログイン画面から「電源」  → 「シャットダウン」の順にタップ/クリックします。



- デスクトップモードでもASUS Tabletをシャットダウンすることができます。デスクトップモードを起動し、<alt + f4>を押し、シャットダウンウィンドウを起動します。ドロップダウンリストから「シャットダウン」を選択し、「OK」を選択します。
- システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを約4秒間押し、強制終了することができます。

ASUS Tabletをスリープ状態にする

スリープモードにするには、電源ボタンを1回押します。設定によっては、休止状態/シャットダウンに移行することもできます。



- デスクトップモードを起動し、<alt + f4>を押し、シャットダウンウィンドウを起動します。「スリープ」を選択し、ドロップダウンリストから「OK」を選択します。

Windows®8.1 ロック画面

Windows®8.1 ロック画面はスリープまたは休止状態から復帰すると表示されます。また、Windows®8.1をロックしたときにも表示されます。



ロック画面をカスタマイズすることができます。システムがロックされていても、背景のスライドショーや特定のアプリをバックグラウンドで実行し、簡易ステータスを表示することが可能です。

ロック画面の解除



または



1. タッチパッドをタップ/クリックする、または ASUS Tabletのキーボードの任意のキーを押します。
2. アカウントがパスワードで保護されている場合、パスワードを入力してスタート画面を起動します。

ロック画面をカスタマイズする

ロック画面をカスタマイズし、選択した画像やスライドショーの表示や、アプリの更新の表示、内蔵カメラの起動が可能です。ロック画面の設定を変更する際は、次の記載をご参照ください。

画像の選択



1. チャームバーから「設定」を起動します。
2. 「PC設定の変更」→「ロック画面」を選択します。
3. 「ロック画面のプレビュー」で「参照」をクリックし、ロック画面の背景として使用する画像を選択します。

スライドショーの再生



1. チャームバーから「設定」を起動します。
2. 「PC設定の変更」→「ロック画面」を選択します。
3. 「ロック画面のプレビュー」で、「ロック画面でスライドショーを再生する」のスライダーをスライドし「オン」にします。



表示するアプリを追加する



1. チャームバーから「設定」を起動します。
2. 「PC設定の変更」→「ロック画面」を選択します。
3. 画面を下方方向にスクロールし、「**ロック画面に表示するアプリ**」オプションを表示します。
4. ステータスをロック画面に表示させたいアプリを追加します。




ロック画面からカメラを起動する

ロック画面を下方方向になぞることで、ASUS Tabletのカメラ機能を有効にすることができます。以下の手順で有効にします。



1. チャームバーから「設定」を起動します。
2. 「PC設定の変更」→「ロック画面」を選択します。
3. 画面をスクロールし「**カメラ**」オプションを表示させます。
4. スライダーをスライドし「**オン**」にします。

トラブルシューティング

POST中に  を押すと、次のトラブルシューティングのオプションにアクセスできます。

PCのリフレッシュ、PCを初期状態に戻す、詳細オプション

PCのリフレッシュ

個人用ファイルやパーソナル設定、Windows® ストア アプリを失うことなく、システムをリフレッシュしたい場合は「**PCのリフレッシュ**」オプションを使用します。

POST中にアクセスする



1. <Shift>キーを押しながら、ASUS Tabletを再起動します。
2. Windows®が「**オプションの選択**」を読み込むまで待機し、「**トラブルシューティング**」をタップ/クリックします。
3. 「**PCのリフレッシュ**」をタップ/クリックします。
4. 「**PCのリフレッシュ**」画面に表示されるこのオプションに関する説明項目を読み、「**次へ**」をタップ/クリックします。
5. 更新するアカウントをタップ/クリックします。
6. アカウントのパスワードを入力し、「**続行**」をタップ/クリックします。
7. 「**PCのリフレッシュ**」をタップ/クリックします。

重要: ASUS Tabletのリセットを行う前に、TabletがACアダプターで電源に接続されていることをご確認ください。

注: ご使用環境などにより、手順などが異なる場合がありますが、その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

PCを初期状態に戻す

重要: このオプションを実行する前に全てのデータをバックアップしてください。

「**PCを初期状態に戻す**」オプションを使用し、ASUS Tabletをデフォルト設定にリセットします。

POST中にアクセスする



1. <Shift>キーを押しながら、ASUS Tabletを再起動します。
2. Windows®が「**オプションの選択**」を読み込むまで待機し、「**トラブルシューティング**」をタップ/クリックします。
3. 「**PCを初期状態に戻す**」をタップ/クリックします。
4. 「**PCを初期状態に戻す**」画面に表示されるこのオプションに関する説明項目を読み、「**次へ**」をタップ/クリックします。
5. 「**Windowsがインストールされているドライブのみ**」または「**すべてのドライブ**」のいずれかを選択します。
6. 「**ファイルの削除のみ行う**」または「**ドライブを完全にクリーンアップする**」のいずれかを選択します。
7. 「**初期状態に戻す**」をタップ/クリックします。

重要: 本機のリセットを行う前に、本機がACアダプターで電源に接続されていることをご確認ください。

注: ご使用環境などにより、手順などが異なる場合がありますが、その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

詳細オプション

「**詳細オプション**」でASUS Tabletに搭載の追加トラブルシューティングオプションを実行することができます。

POST中にアクセスする



1. <Shift>キーを押しながら、ASUS Tabletを再起動します。



2. Windows®が「**オプションの選択**」を読み込むまで待機し、「**トラブルシューティング**」をタップ/クリックします。

3. 「**詳細オプション**」をタップ/クリックします。

4. 「**詳細オプション**」画面で、実行するトラブルシューティングオプションを選択します。

5. 以降の手順に従い、作業を完了します。

イメージでシステムを回復の使用

「**詳細オプション**」の「**イメージでシステムを回復**」オプションで、イメージファイルを使用したシステムリカバリーを実行することができます。

POST中にアクセスする



1. <Shift>キーを押しながら、ASUS Tabletを再起動します。



2. Windows®が「**オプションの選択**」を読み込むまで待機し、「**トラブルシューティング**」をタップ/クリックします。

3. 「**詳細オプション**」をタップ/クリックします。

4. 詳細オプション画面で「**イメージでシステムを回復**」を選択します。
5. システムイメージファイルでリカバリーを行うアカウントを選択します。
6. アカウントのパスワードを入力し、「**続行**」をタップ/クリックします。
7. 「**利用可能なシステムイメージのうち最新のものを使用する(推奨)**」を選択し、「**次へ**」をタップ/クリックします。システムイメージが外部デバイスまたはDVD内にある場合は、「**システムイメージを選択する**」を選択することもできます。
8. 以降の手順に従い、リカバリー作業を完了します。

注: ASUS Tabletが万一動作を停止した場合に備え、データの損失を防ぐため定期的なシステムのバックアップを強くお勧めします。

注: ご使用環境などにより、手順などが異なる場合がありますが、その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

Chapter 4: FAQとヒント

安全に使用するためのヒント

大切なデータを守り、安全に快適にご使用いただくためのヒントを記載しました。本製品の使用方法に関する記載と併せてお読みください。

- **Windows® Update:**
定期的にWindows® Update を実行し、Windows®を最新の状態でご使用ください。
- **ASUS Live Update:**
ASUS Live UpdateはASUSが提供するユーティリティーやドライバーなどの更新が適用できます。
- **アンチウイルスソフト:**
ウイルスからパソコンや大切なデータを守るため、ウイルス対策のソフトを利用しましょう。
- **強制終了・停電:**
突然の電源断などによる機器の停止は問題を引き起こす可能性があります。使用中はバッテリーをできる限り装着し、機器の停止時も正しいシャットダウンをしましょう。
- **バックアップ:**
本機が起動しないなど故障した際、大切なデータを取り出せなくなる可能性があります。定期的に外付けの記憶装置などへバックアップをお取りください。
- **環境温度:**
高温となる場所でのご使用は控えてください。長期間ノートパソコンを使用しない場合は、バッテリーを本体から取り外すことをお勧めします（着脱可能な場合）。
- **本機のリセット:**
リセットを行う際は周辺機器を周辺機器をすべて取り外し、次の項目がすべて揃っていることをご確認ください。
 - Officeアプリなどプロダクトキーが必要な場合は、そちらのプロダクトキー
 - バックアップデータ
 - ログインIDとパスワード
 - インターネット接続に必要な情報不明点がある場合は、ネットワーク管理者もしくはプロバイダーにお問い合わせください。

ハードウェアに関するFAQ

1. 液晶ディスプレイに黒い点や、常時点灯(赤、青、緑)している点がある

製品の品質には万全を期していますが、液晶ディスプレイにはごくわずかですが不完全な表示(ドット抜け)が発生する場合があります。これらは製品の品質を損なうものではありませんが、ASUSの提供する保証サービスが適用される場合がございます。詳しくは、製品に同梱の保証書もしくはASUSコールセンターまでご連絡ください。

2. 液晶ディスプレイの色や明るさにむらがある

液晶ディスプレイの構造上、見る角度や環境により、明るさや色にむらが見える場合があります。また、液晶ディスプレイの明るさや色合いはモデルによって異なる場合があります。FunctionキーまたはOSのディスプレイ設定により画面の調整が可能です。

3. バッテリー駆動時間を長くする方法



以下の方法を推奨します。

- Functionキーで液晶ディスプレイの表示を暗くします。
- Wi-Fi機能を使用しないときはFunctionキーで「**機内モード**」をオンにします。
- マウスやUSB機器など、使わない周辺機器は取り外します。
- 大きな負荷がかかるアプリの使用を避けます。



4. バッテリー状態表示ランプが点灯しない

- ACアダプターまたは充電されたバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認してください。
- ACアダプターとバッテリーパック(取り外し可能なモデルのみ)を取り外し、1分以上待ってから再度入れて起動してください。
- それでも点灯しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

5. タッチパッドが使用できない

-  +  を押し、タッチパッドの有効/無効の切り替えをお試しください。
- マウスが接続されている場合は、ASUS Smart Gestureでマウス接続時にタッチパッドが無効になる機能が有効になっていないか確認し、もし、有効になっている場合は、マウスを取り外すか、こちらの機能を無効にしてください。

6. スピーカーから音が出ない

-  +  を押し、音量の調節などお試しください。
- ご使用のアプリなどで、ミュート設定になっていないかご確認ください。
- ヘッドホン出力用のジャックに何か接続されていないかご確認ください。接続されている場合は、そちらを取り外してください。
- 再起動し、ASUSロゴが表示されたら<F2>を押し、BIOSのセットアップ画面に入り、「Save & Exit」のページより「Restore Defaults」を実施、<F10>を押し変更を保存し、BIOSのセットアップ画面を終了してからお試しください。

7. 消耗品の購入、ACアダプターをなくした際などの対応方法



コールセンターへご連絡、もしくはASUS Shopをご確認ください。
ASUS Shop; <http://shop.asus.co.jp/>
※URLは予告なく変更する可能性があります。

8. ヘッドホン出力用のジャックにヘッドホンなどを接続しても、スピーカーから音が出る

「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」からオーディオマネージャー（モデルにより名称が異なる場合があります）にアクセスし、設定をご確認ください。




9. キー入力中にカーソルが移動し、正しくキー入力できない



- お使いのモデルがタッチパッド搭載モデルの場合は、手のひらや洋服の袖などがタッチパッドに触れ、そのため、カーソル移動が発生している可能性があります。

-  +  を押し、タッチパッドの機能を無効にし、キー入力をお試しください。

10. 「U」、「I」、「O」などのキーをタイプすると数字が入力される

「num lock（ニューメリカルロック）が有効になっている可能性

があります。  または  + （モデルによっては

 + ）を押し、再度、目的のキーの入力をお試しください。
(num lockファンクション搭載モデルのみ)

ソフトウェアに関するFAQ

1. **電源インジケータは点灯しているが、ドライブアクティビティインジケータが点灯/点滅せず、本機が正常に起動しない**
 - 電源ボタンを4秒以上長押しし、電源を切り、ACアダプターとバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認のうえ、再度、電源を入れてください。
 - それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。
2. **「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示される**
 - USBデバイスが接続されている場合は取り外してください。
 - 光学ドライブ搭載のモデルでは、CDなどが挿入されている場合はそちらを取り外します。
 - それでも起動しない場合は、記憶装置に何らかの問題が発生している可能性があります。コールセンターへご連絡ください。
3. **起動や動作が遅い**
 - お買い上げ後にインストールしたアプリなどがありましたら、そちらの常駐の解除をお試しください。
 - リフレッシュをお試しください。なお、リフレッシュを実施されても、個人用ファイルとパーソナル設定へは影響はありませんが、お買い上げ後にインストールしたアプリなどはアンインストールされます (Windowsストアからインストールしたアプリは残ります)。削除されたアプリの一覧はデスクトップに保存されます。

4. 本機が起動しない/OSが起動しない

- 接続しているUSBデバイスなどをすべて取り外して、電源を入れてください。
- <Shift>キーを押しながら再起動します。オプションの選択画面からトラブルシューティングを選択し、「PCのリフレッシュ」や「初期状態に戻す」をお試しください。
- 機器本体の温度が上昇している場合は、過熱を防止するための機能が自動的に働いている可能性がありますので、しばらく待ってから再度、電源を入れてください。
- それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

5. スリープ状態/休止状態から復帰しない

- 特定モデルでは、スリープ状態からの復帰には電源ボタンを押す必要があります。電源ボタンを押してください。
- バッテリー残量が少なくなっている、もしくは、完全に放電している可能性があります。ACアダプターを接続し電源ボタンを押してください。
- 一旦、電源ボタンを4秒以上長押しし、機器を強制終了後、電源ボタンを押し、起動してください。なお、保存していないデータは失われます。

Chapter 5: 付録

内蔵モデムの適応規格 (規格/プロトコルなど原文掲載)

The ASUS Tablet with internal modem model complies with JATE (Japan), FCC (US, Canada, Korea, Taiwan), and CTR21. The internal modem has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point. In the event of problems you should contact your equipment supplier in the first instance.

Overview

On 4th August 1998 the European Council Decision regarding the CTR 21 has been published in the Official Journal of the EC. The CTR 21 applies to all non voice terminal equipment with DTMF-dialling which is intended to be connected to the analogue PSTN (Public Switched Telephone Network).

CTR 21 (Common Technical Regulation) for the attachment requirements for connection to the analogue public switched telephone networks of terminal equipment (excluding terminal equipment supporting the voice telephony justified case service) in which network addressing, if provided, is by means of dual tone multi-frequency signalling.

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the Notified Body and the vendor: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties."

Statement to be made by the manufacturer to the user: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties. The manufacturer shall also associate a statement to make it clear where network compatibility is dependent on physical and software switch settings. It will also advise the user to contact the vendor if it is desired to use the equipment on another network."

Up to now the Notified Body of CETECOM issued several pan-European approvals using CTR 21. The results are Europe's first modems which do not require regulatory approvals in each individual European country.

Non-Voice Equipment

Answering machines and loud-speaking telephones can be eligible as well as modems, fax machines, auto-dialers and alarm systems. Equipment in which the end-to-end quality of speech is controlled by regulations (e.g. handset telephones and in some countries also cordless telephones) is excluded.

This table shows the countries currently under the CTR21 standard.

Country	Applied	More Testing
Austria ¹	Yes	No
Belgium	Yes	No
Czech Republic	No	Not Applicable
Denmark ¹	Yes	Yes
Finland	Yes	No
France	Yes	No
Germany	Yes	No
Greece	Yes	No
Hungary	No	Not Applicable
Iceland	Yes	No
Ireland	Yes	No
Italy	Still Pending	Still Pending
Israel	No	No
Lichtenstein	Yes	No
Luxemburg	Yes	No
The Netherlands ¹	Yes	Yes
Norway	Yes	No
Poland	No	Not Applicable
Portugal	No	Not Applicable
Spain	No	Not Applicable
Sweden	Yes	No
Switzerland	Yes	No
United Kingdom	Yes	No

This information was copied from CETECOM and is supplied without liability. For updates to this table, you may visit http://www.cetecom.de/technologies/ctr_21.html

1 National requirements will apply only if the equipment may use pulse dialling (manufacturers may state in the user guide that the equipment is only intended to support DTMF signalling, which would make any additional testing superfluous).

In The Netherlands additional testing is required for series connection and caller ID facilities.

Federal Communications Commission Interference Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING! The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] & [EN 301 489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement

WARNING! Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment. "The manufacture declares that this device is limited to Channels 1 through 11 in the 2.4GHz frequency by specified firmware controlled in the USA."

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with FCC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

RF Exposure Information (SAR)

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The exposure standard employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the EUT transmitting at the specified power level in different channels.

The highest SAR values for this device, as reported to the FCC, are 1.42 W/kg for T100TAL and 0.686 W/kg for T100TAF when placed next to the body.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of www.fcc.gov/eot/ea/fccid after searching on FCC ID:

MSQ-T100TAL, MSQ-T100TAF

This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

CE Marking



CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC "Electromagnetic compatibility" and 2006/95/EC "Low voltage directive".



CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

The highest CE SAR values for the device are 1.42 W/kg for T100TAL and 0.686 W/kg for T100TAF.

This equipment may be operated in:

AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK
EE	ES	FI	FR	GB	GR	HU	IE
IT	IS	LI	LT	LU	LV	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

RF Exposure information (SAR) - CE

This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/Kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For next-to-body operation, this device has been tested and meets the ICNRP exposure guidelines and the European Standard EN 50566 and EN 62209-2. SAR is measured with the device directly contacted to the body while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

日本国内での無線周波数帯のご利用について

電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限ります。

聴覚障害を防ぐため

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧は、難聴などの聴覚障害の原因となる場合があります。ボリュームコントロールやイコライザーを基準値以外に設定した場合、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し音圧が高くなる場合があります。ご注意ください。



IC Radiation Exposure Statement for Canada

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with IC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause interference and
- This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

To prevent radio interference to the licensed service (i.e. co-channel Mobile Satellite systems) this device is intended to be operated indoors and away from windows to provide maximum shielding. Equipment (or its transmit antenna) that is installed outdoors is subject to licensing.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s).

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

This device and its antenna(s) must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter, except tested built-in radios.

The IC ID for this device is 3568A-T100TAF.

Déclaration d'Industrie Canada relative à l'exposition aux ondes radio

Cet appareil est conforme aux limites d'exposition aux radiations d'Industrie Canada définies pour un environnement non-contrôlé. Pour maintenir la conformité avec les exigences d'exposition RF d'IC, veuillez éviter tout contact direct avec l'antenne pendant l'émission. Les utilisateurs finaux doivent suivre les instructions de fonctionnement spécifiques pour satisfaire la conformité aux expositions RF.

Son utilisation est sujette aux deux conditions suivantes :

- Cet appareil ne peut pas causer d'interférence, et
- Cet appareil doit accepter toute interférence, y compris les interférences qui pourraient causer un fonctionnement non souhaité de l'appareil.

Pour éviter les interférences radio avec le service sous licence (c'est à-dire le partage de canal avec les systèmes de téléphonie satellite), cet appareil est destiné à être utilisé en intérieur et loin des fenêtres pour fournir un blindage maximal. Tout appareil (ou son antenne d'émission) qui est installé en extérieur est sujet à cette licence.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

Cet appareil et son antenne ne doivent pas être situés ou fonctionner en conjonction avec une autre antenne ou un autre émetteur, exception faites des radios intégrées qui ont été testées.

L'identifiant Industrie Canada de cet appareil est: 3568A-T100TAF

Radiation Exposure Statement

The product comply with the Canada portable RF exposure limit set forth for an uncontrolled environment and are safe for intended operation as described in this manual. The further RF exposure reduction can be achieved if the product can be kept as far as possible from the user body or set the device to lower output power if such function is available.

Déclaration d'exposition aux radiations

Le produit est conforme aux limites d'exposition pour les appareils portables RF pour les Etats-Unis et le Canada établies pour un environnement non contrôlé.

Le produit est sûr pour un fonctionnement tel que décrit dans ce manuel. La réduction aux expositions RF peut être augmentée si l'appareil peut être conservé aussi loin que possible du corps de l'utilisateur ou que le dispositif est réglé sur la puissance de sortie la plus faible si une telle fonction est disponible.

Caution

- (i) the device for operation in the band 5150-5250 MHz is only for indoor use to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems;
- (ii) the maximum antenna gain permitted for devices in the bands 5250-5350 MHz and 5470-5725 MHz shall comply with the e.i.r.p. limit; and
- (iii) the maximum antenna gain permitted for devices in the band 5725-5825 MHz shall comply with the e.i.r.p. limits specified for point-to-point and non point-to-point operation as appropriate.
- (iv) Users should also be advised that high-power radars are allocated as primary users (i.e. priority users) of the bands 5250-5350 MHz and 5650-5850 MHz and that these radars could cause interference and/or damage to LE-LAN devices.

Avertissement

Le guide d'utilisation des dispositifs pour réseaux locaux doit inclure des instructions précises sur les restrictions susmentionnées, notamment :

(i) les dispositifs fonctionnant dans la bande 5 150-5 250 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux;

(ii) le gain maximal d'antenne permis pour les dispositifs utilisant les bandes 5 250-5 350 MHz et 5 470-5 725 MHz doit se conformer à la limite de p.i.r.e.;

(iii) le gain maximal d'antenne permis (pour les dispositifs utilisant la bande 5 725-5 825 MHz) doit se conformer à la limite de p.i.r.e. spécifiée pour l'exploitation point à point et non point à point, selon le cas.

(iv) De plus, les utilisateurs devraient aussi être avisés que les utilisateurs de radars de haute puissance sont désignés utilisateurs principaux (c.-à-d., qu'ils ont la priorité) pour les bandes 5 250-5 350 MHz et 5 650-5 850 MHz et que ces radars pourraient causer du brouillage et/ou des dommages aux dispositifs LAN-EL.

Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

NOTE: Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: on private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01 Ain	02 Aisne	03 Allier
05 Hautes Alpes	08 Ardennes	09 Ariège
11 Aude	12 Aveyron	16 Charente
24 Dordogne	25 Doubs	26 Drôme
32 Gers	36 Indre	37 Indre et Loire
41 Loir et Cher	45 Loiret	50 Manche
55 Meuse	58 Nièvre	59 Nord
60 Oise	61 Orne	63 Puy du Dôme
64 Pyrénées Atlantique	66 Pyrénées Orientales	67 Bas Rhin
68 Haut Rhin	70 Haute Saône	71 Saône et Loire
75 Paris	82 Tarn et Garonne	84 Vaucluse
88 Vosges	89 Yonne	90 Territoire de Belfort
94 Val de Marne		

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.arcep.fr)

NOTE: Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the ASUS Tablet modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- DO NOT use the ASUS Tablet near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- DO NOT use the ASUS Tablet during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- DO NOT use the ASUS Tablet in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (nonrechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- Do not dispose the ASUS Tablet battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- Do not use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm² or H05VV-F, 2G, 0.75mm².

TV Notices

Note to CATV System Installer—Cable distribution system should be grounded (earthed) in accordance with ANSI/NFPA 70, the National Electrical Code (NEC), in particular Section 820.93, Grounding of Outer Conductive Shield of a Coaxial Cable – installation should include bonding the screen of the coaxial cable to the earth at the building entrance.

REACH

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>.

Macrovision Corporation Product Notice

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S.A. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only *unless otherwise authorized by Macrovision Corporation*. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries)

CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)

ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con un'una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)

VORSICHT! Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)

ADVARSEL!! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)

VARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)

VAROITUS! Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu. Vaihda paristo ainoastaan laitevalmistajan suosittelemaan tyyppiin. Hävitä käytetty paristo valmistajan ohjeiden mukaisesti. (Finnish)

ATTENTION! Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur. Mettre au rebut les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)

ADVARSEL! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)

注意: バッテリーの交換は正しく行ってください。破裂する危険があります。交換の際は、メーカーが指定したバッテリーをお使いください。また、廃棄の際は家庭ゴミとまとめて捨てずに、最寄の廃棄物処理施設等に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。(Japanese)

ВНИМАНИЕ! При замене аккумулятора на аккумулятор иного типа возможно его возгорание. Утилизируйте аккумулятор в соответствии с инструкциями производителя. (Russian)

Optical Drive Safety Information

Laser Safety Information

CD-ROM Drive Safety Warning

CLASS 1 LASER PRODUCT

WARNING! To prevent exposure to the optical drive's laser, do not attempt to disassemble or repair the optical drive by yourself. For your safety, contact a professional technician for assistance.

Service warning label

WARNING! INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS.

CDRH Regulations

The Center for Devices and Radiological Health (CDRH) of the U.S. Food and Drug Administration implemented regulations for laser products on August 2, 1976. These regulations apply to laser products manufactured from August 1, 1976. Compliance is mandatory for products marketed in the United States.

WARNING! Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein or in the laser product installation guide may result in hazardous radiation exposure.

CTR21 Approval (for ASUS Tablet with built-in Modem)

Danish

•Udstyret er i henhold til Rådets beslutning 98/482/EF EU-godkendt til at blive opkoblet på de offentlige telefonnet som enkeltforbundet terminal. På grund af forskelle mellem de offentlige telefonnet i de forskellige lande giver godkendelsen dog ikke i sig selv ubetinget garanti for, at udstyret kan fungere korrekt på samtlige nettermineringspunkter på de offentlige telefonnet.

I tilfælde af problemer bør De i første omgang henvende Dem til leverandøren af udstyret.▪

Dutch

„Dit apparaat is goedgekeurd volgens Beschikking 98/482/EG van de Raad voor de pan-Europese aansluiting van enkelvoudige eindapparatuur op het openbare geschakelde telefoonnetwerk (PSTN). Gezien de verschillen tussen de individuele PSTN's in de verschillende landen, biedt deze goedkeuring op zichzelf geen onvoorwaardelijke garantie voor een succesvolle werking op elk PSTN-netwerkaansluitpunt.

Neem bij problemen in eerste instantie contact op met de leverancier van het apparaat.”

English

“The equipment has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.”

Finnish

”Tämä laite on hyväksytty neuvoston päätöksen 98/482/EY mukaisesti liitettäväksi yksittäisenä laitteena yleiseen kytkentäiseen puhelinverkkoon (PSTN) EU:n jäsenvaltioissa. Eri maiden yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen välillä on kuitenkin eroja, joten hyväksyntä ei sellaisenaan takaa häiriötöntä toimintaa kaikkien yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen liityntäpisteissä.

Ongelmien ilmetessä ottaaak viipymättä yhteyttä laitteen toimittajaan.”

French

•Cet équipement a reçu l'agrément, conformément à la décision 98/482/CE du Conseil, concernant la connexion paneuropéenne de terminal unique aux réseaux téléphoniques publics commutés (RTPC). Toutefois, comme il existe des différences d'un pays à l'autre entre les RTPC, l'agrément en soi ne constitue pas une garantie absolue de fonctionnement optimal à chaque point de terminaison du réseau RTPC.

En cas de problème, vous devez contacter en premier lieu votre fournisseur.▪

German

„Dieses Gerät wurde gemäß der Entscheidung 98/482/EG des Rates europaweit zur Anschaltung als einzelne Endeinrichtung an das öffentliche Fernsprechnetzzugelassen. Aufgrund der zwischen den öffentlichen Fernsprechnetzen verschiedener Staaten bestehenden Unterschiede stellt diese Zulassung an sich jedoch keine unbedingte Gewähr für einen erfolgreichen Betrieb des Geräts an jedem Netzanschlußpunkt dar.

Falls beim Betrieb Probleme auftreten, sollten Sie sich zunächst an Ihren Fachhändler wenden.“

Greek

«Ο εξοπλισμός έχει εγκριθεί για πανευρωπαϊκή σύνδεση μεμονωμένου τερματικού με το δημόσιο τηλεφωνικό δίκτυο μεταγωγής (PSTN), σύμφωνα με την απόφαση 98/482/ΕΚ του Συμβουλίου. Ωστόσο, επειδή υπάρχουν διαφορές μεταξύ των εμπορικών PSTN που παρέχονται σε διάφορες χώρες, η έγκριση δεν παρέχει απ' αυτής ανεπιφύλακτη εξασφάλιση επαρκούς λειτουργίας σε κάθε σημείο απόληξης του δικτύου PSTN.

Εάν ανακύψουν προβλήματα, θα πρέπει κατ' αρχάς να απευθύνεστε στον προμηθευτή του εξοπλισμού σας.»

Italian

•La presente apparecchiatura terminale è stata approvata in conformità della decisione 98/482/CE del Consiglio per la connessione paneuropea come terminale singolo ad una rete analogica PSTN. A causa delle differenze tra le reti dei differenti paesi, l'approvazione non garantisce però di per sé il funzionamento corretto in tutti i punti di terminazione di rete PSTN.

In caso di problemi contattare in primo luogo il fornitore del prodotto.»

Portuguese

•Este equipamento foi aprovado para ligação pan-europeia de um único terminal à rede telefónica pública comutada (RTPC) nos termos da Decisão 98/482/CE. No entanto, devido às diferenças existentes entre as RTPC dos diversos países, a aprovação não garante incondicionalmente, por si só, um funcionamento correcto em todos os pontos terminais da rede da RTPC.

Em caso de problemas, deve entrar-se em contacto, em primeiro lugar, com o fornecedor do equipamento.»

Spanish

•Este equipo ha sido homologado de conformidad con la Decisión 98/482/CE del Consejo para la conexión paneuropea de un terminal simple a la red telefónica pública conmutada (RTPC). No obstante, a la vista de las diferencias que existen entre las RTPC que se ofrecen en diferentes países, la homologación no constituye por sí sola una garantía incondicional de funcionamiento satisfactorio en todos los puntos de terminación de la red de una RTPC.

En caso de surgir algún problema, procede ponerse en contacto en primer lugar con el proveedor del equipo.»

Japanese

本装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に、近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。本書の説明にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本製品を日本で使用する場合は必ず日本国モードでご使用ください。他国のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。なお、ご購入時は初期値が日本国モードとなっておりますので、そのままご利用ください。

European Union Eco-label

This ASUS Tablet has been awarded the EU Flower label, which means that this product has the following characteristics:

1. Decreased energy consumption during use and stand-by modes.
2. Limited use of toxic heavy metals.
3. Limited use of substances harmful to the environment and health.
4. Reduction of the use of natural resources by encouraging recycling.
5. Designed for easy upgrades and longer lifetime through providing compatible spare parts such as batteries, power supplies, the keyboard, the memory, and if available the CD drive or DVD drive.
6. Reduced solid waste through takeback policy.

For more information on the EU Flower label, please visit the European Union Eco-label website at <http://www.ecolabel.eu>.

電気・電子機器に含有される化学物質の表示 について

資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉碎され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

重要: 感電などを防ぐため、本機は絶縁性のあるコーティング材を使用しています (入出力ポート搭載部分を除く)。

ASUS Mobile Dock Compatibility Table

T100 series Model	ASUS Mobile Dock	TYPE
T100TAF/H100TAF/ Y100TAF/R104TAF	T100T Mobile Dock2/H100T Mobile Dock2/ Y100T Mobile Dock2/R104T Mobile Dock2	USB2.0
T100TAL/H100TAL/ R104TAL	T100T Mobile Dock2/H100T Mobile Dock2/ Y100T Mobile Dock2/R104T Mobile Dock2	USB2.0
T100TA/H100TA/ R104TA	T100T Mobile Dock/H100T Mobile Dock Mobile Dock/R104T Mobile Dock	USB3.0
T100TAM/H100TAM/ R104TAM	T100T Mobile Dock/H100T Mobile Dock Mobile Dock/R104T Mobile Dock	USB3.0

Regional notice for Singapore

Complies with
IDA Standards
DB103778

This ASUS product complies with IDA Standards.

Regional notice for India

This product complies with the “India E-waste (Management and Handling) Rule 2011” and prohibits use of lead, mercury, hexavalent chromium, polybrominated biphenyls(PBBs) and polybrominated diphenyl ethers (PBDEs) in concentrations exceeding 0.1 % by weight in homogenous materials and 0.01 % by weight in homogenous materials for cadmium, except for the exemptions listed in Schedule-II of the Rule.

Notices for removeable batteries

- Risk of explosion if battery is replaced by an incorrect type.
- The battery and its component must be recycled or disposed of properly.

Avis concernant les batteries remplaçables

- La batterie de l'ordinateur portable peut présenter un risque d'incendie ou de brûlure si celle-ci est retirée ou désassemblée.
- La batterie et ses composants doivent être recyclés de façon appropriée.

EC Declaration of Conformity



We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address:	4F, No. 150, LI-TE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	Tablet
Model name :	T100TAL, H100TAL, R104TAL (Include LTE) T100TAF, H100TAF, Y100TAF, R104TAF (WIFI only)

conform with the essential requirements of the following directives:

2004/108/EC-EMC Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 55022:2010+AC:2011	<input checked="" type="checkbox"/> EN 55024:2010
<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-2:2006+A2:2009	<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-3:2013
<input type="checkbox"/> EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	<input type="checkbox"/> EN 55020:2007+A11:2011

1999/5/EC-R&TTE Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 300 328 V1.8.1(2012-06)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-3 V1.6.1(2013-08)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-4 V1.4.1(2009-05)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 908-1 V6.2.1(2013-04)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 908-2 V5.4.1(2012-12)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-17 V2.2.1(2012-09)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 908-13 V5.2.1(2011-05)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-24 V1.5.1(2010-10)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 893 V1.7.1(2012-06)	<input type="checkbox"/> EN 302 325-2 V1.2.2(2007-06)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 302 544-2 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 50332-1 (2000-03)
<input type="checkbox"/> EN 302 623 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 50332-2 (2003-12)
<input type="checkbox"/> EN 62209-1: 2006	<input type="checkbox"/> EN 50360: 2001
<input checked="" type="checkbox"/> EN 62209-2: 2010	<input type="checkbox"/> EN 50360/A1 :2012
<input checked="" type="checkbox"/> EN 62479:2010	<input type="checkbox"/> EN 302 291-1 V1.1.1(2005-07)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 50566: 2013	<input type="checkbox"/> EN 302 291-2 V1.1.1(2005-07)

2006/95/EC-LVD Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 60950-1 / A12:2011	<input type="checkbox"/> EN 60065:2002 / A12:2011
---	---

2009/125/EC-ErP Directive

<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 1275/2008	<input checked="" type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 278/2009
<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 642/2009	<input checked="" type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 617/2013

2011/65/EU-RoHS Directive

Ver. 140331

CE marking



(EC conformity marking)

Position : CEO

Name : **Jerry Shen**

Signature : _____

Declaration Date: 29/07/2014

Year to begin affixing CE marking: 2014

EC Declaration of Conformity



We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address:	4F, No. 150, LI-TE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	Mobile Dock
Model name :	T100T Mobile Dock2, H100T Mobile Dock2, Y100T Mobile Dock2, R104T Mobile Dock2

conform with the essential requirements of the following directives:

2004/108/EC-EMC Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 55022:2010+AC:2011	<input checked="" type="checkbox"/> EN 55024:2010
<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-2:2006+A2:2009	<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-3:2013
<input type="checkbox"/> EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	<input type="checkbox"/> EN 55020:2007+A11:2011

1999/5/EC-R&TTE Directive

<input type="checkbox"/> EN 300 328 V1.7.1(2006-10)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09)
<input type="checkbox"/> EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
<input type="checkbox"/> EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-4 V1.4.1(2009-05)
<input type="checkbox"/> EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-1 V5.2.1(2011-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-2 V5.2.1(2011-07)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-17 V2.2.1(2012-09)
<input type="checkbox"/> EN 301 893 V1.6.1(2011-11)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-24 V1.5.1(2010-09)
<input type="checkbox"/> EN 302 544-2 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
<input type="checkbox"/> EN 302 523 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
<input type="checkbox"/> EN 50360:2001	<input type="checkbox"/> EN 301 357-2 V1.4.1(2008-11)
<input type="checkbox"/> EN 62479:2010	<input type="checkbox"/> EN 302 291-1 V1.1.1(2005-07)
<input type="checkbox"/> EN 50385:2002	<input type="checkbox"/> EN 302 291-2 V1.1.1(2005-07)
<input type="checkbox"/> EN 62311:2008	

2006/95/EC-LVD Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 60950-1 / A12:2011	<input type="checkbox"/> EN 60065:2002 / A12:2011
---	---

2009/125/EC-ErP Directive

<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 1275/2008	<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 278/2009
<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 642/2009	<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 617/2013

2011/65/EU-RoHS Directive

Ver. 140331

CE marking



(EC conformity marking)

Position : **CEO**

Name : **Jerry Shen**

Declaration Date: 29/07/2014

Year to begin affixing CE marking: 2014

Signature : _____